

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和 5年 6月 1日</p> <p>栃木県知事 福田 富一 様</p> <p style="text-align: right;">提出者 住 所 栃木県真岡市鬼怒ヶ丘 8 氏 名 株式会社真岡製作所 代表取締役 仁科捷哉 電話番号 0285-83-0871</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社真岡製作所 本社工場
事業場の所在地	栃木県真岡市鬼怒ヶ丘 8
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	2251 銑鉄鋳物製造業 ダクティル鋳鉄品の製造
② 事業の規模	令和4年度製品生産量 7426.0 t
③ 従業員数	135名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
<p>(管理体制図)</p> <pre> graph TD A["(環境管理責任者)"] --- B["(環境法令規制監視担当) EMS事務局"] A --- C["(省エネ推進責任者) 設備センター長"] A --- D["(産業廃棄物管理責任者) 業務センター長"] D --- E["(工場関係管理担当) 製造センター長"] D --- F["(業務関係管理担当) 業務チームリーダー"] </pre>		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り
	排出量	2150.44 t
	(これまでに実施した取組) 従来産業廃棄物に含まれていたものについて、分別の徹底によりその一部を一般廃棄物として処理委託	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り
	排出量	2580.05 t
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の分別に関する事項		
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃棄物分別に関する社内教育の実施	
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・産業廃棄物に関する教育の継続実施	

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	全処理委託量	2150.44 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	28.26 t	t
	再生利用業者への処理委託量	2083.04 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物保管場所の改善		

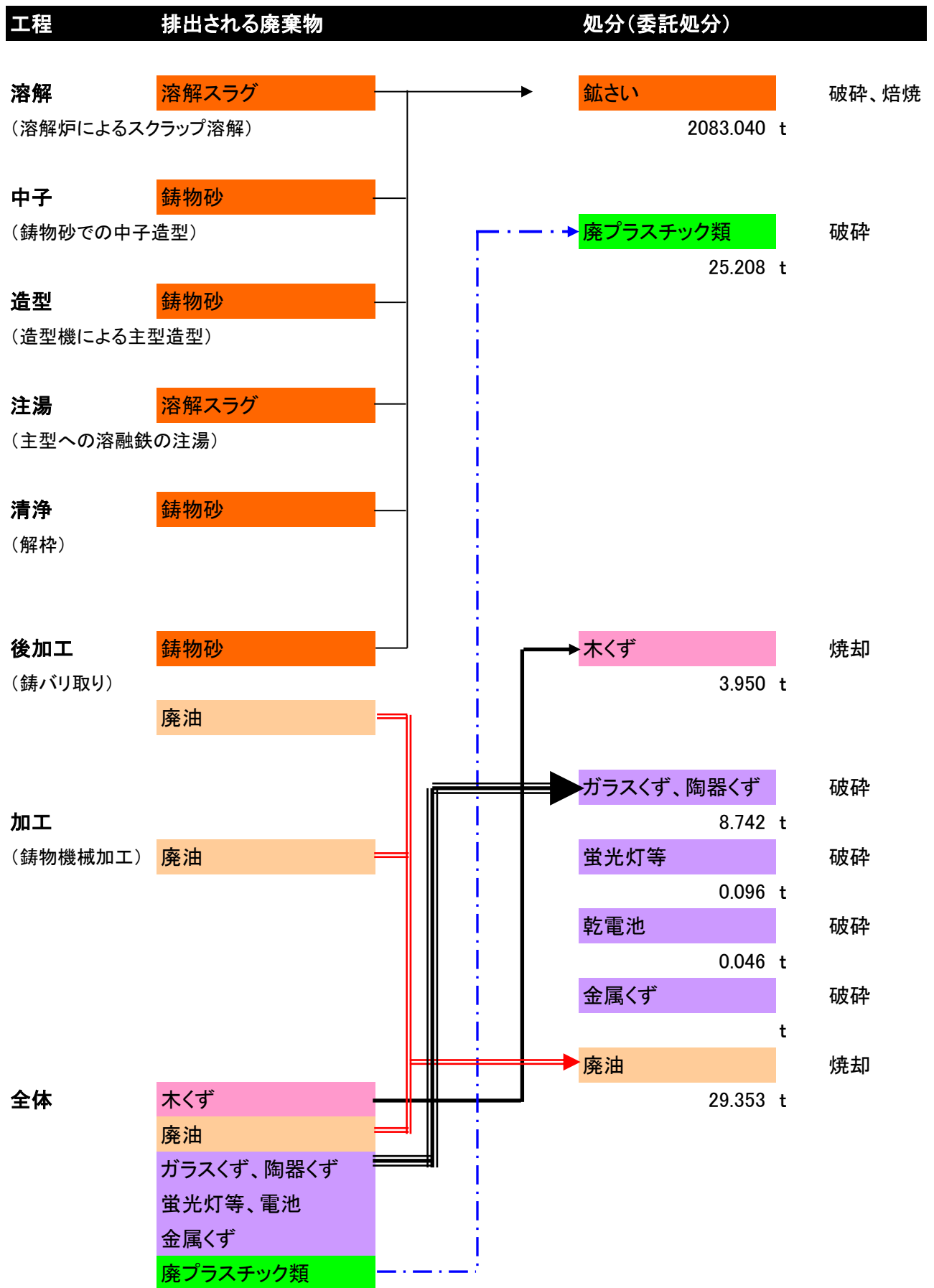
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	全処理委託量	2580.05 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	40.05 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2500.00 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 同上		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 「排出と処理のフロー」

(株)真岡製作所 本社工場



別紙2 「排出実績と計画」

(株)真岡製作所
本社工場

	鋳さい		廃プラスチック		金属くず		木くず		ガラス、陶器くず		電池		廃油	
	実績(t)	目標(t)	実績(t)	目標(t)	実績(t)	目標(t)	実績(t)	目標(t)	実績(t)	目標(t)	実績(t)	目標(t)	実績(t)	目標(t)
	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度
排出量	2083.04	2500	25.21	30	0	0	3.95	5	8.84	10	0.05	0.05	29.35	35
自己再利用	0.00	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0.00	0
自己熱回収	0.00	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0.00	0
自己中間処理	0.00	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0.00	0
自己埋立・海洋処分	0.00	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0.00	0
全処理委託量	2083.04	2500	25.21	30	0	0	3.95	5	8.84	10	0.05	0.05	29.35	35
優良認定処理事業者委託	0.00	0	0.01	0	0	0	3.95	5	0.84	0	0.05	0.05	23.41	35
再生利用業者委託	2083.04	2500	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0.00	0
認定熱回収業者委託	0.00	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0.00	0
熱回収業者委託	0.00	0	0.00	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0.00	0